



衣裳の變遷と道路鋪裝

京都市で名物染織祭を行ふに當つて本朝婦人衣裳の變遷を參考として製作しておるが、夫れは上古時代機殿參進の織女奈良朝時代の歌垣平安朝時代のやすらい花踊鎌倉時代の女房の物語室町時代の諸職の婦女桃山時代の醍醐の花見江戸時代初期の小町江戸時代末期の京女の晴着姿などであるが道路の鋪裝を思ふと都市の衣裳である道路が夏季となると靴の底が吸ひ付かるゝが如き氣持ちする路面は少なくない。危いかな老人の足許よ、護老鋪裝はなきものか。(聖護院生)

交通網にひつか

先き除け其處除け自動車が出るブウ……とソコへ、横丁から自轉車が飛び出でてアワヤと云ふ間もなくスツテンコロリ。自轉車の小僧は泣く泣く騒ぐ、運轉手はどなる、其處へ路面電車がノツソリアツ突かる自動車は横腹に擦過傷、小僧運轉手車掌等が啗々轟々群集は蝟集する、交通巡査は駆け付ける、何か何かと後から後から物見高い見物は押しかける、十數臺の電車は立ち往生する、ソロ／＼降りるは七錢の乗客つぶやき／＼車の動き出すのを待つばかり、他の巡査が應援に來てむらがり騒ぐ群集を拂ひ

注意

本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の投稿を望む、一文四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

のける、やつとの事で自轉車は引き起される、關係者間では交通巡査の取りなしで無條件示談となつてめい／＼己が車に乗つて

右と左にゴーストツブの信號に従ふこととなつた。交通網に引かゝつた騒ぎは之れ丈けぢや蜘蛛の網にひつかかつた蟬は飛んでも網は破れない處に妙味がある。(T青年團員)

三原山から 舞子の濱へ

謹啓新線滴るの此頃「道路の改良」讀者各位愈御健勝拵賀の至に存候却說此春頃から伊豆大島の三原火山で此世の辭退を爲す男女青年が多數有之候趣新聞紙上絶えず承

知仕り寔に遺憾に存候克く無用の生命と思はれ候去るにても同じ生命を棄るならば風光明媚な處を選び候がよりよき工夫かと思はれ申候未だ見ぬ三原山に候得共定めし太平洋中に兀然として聳へ立つ噴火山なれば開闢なる風景の地にも可有之候も無情な大浪怒濤を見れば自然と死にたくも相成るべく候去十數年の歲月を費やし數百萬圓の巨資を投じて改築した國道其處には日本の遊歩道も附帶事業として築造せられ候て一度此道路を遊遊すれば此勝景にオサラバを極め候事の心残り致し更ら／＼死ぬ氣は解消せらるべくと確信仕候御知合にて命惜しからぬ方有之候は、是非々々當地に遊覽を試みられ候様御獎勵被下度御案内申上候

(頃本人滿留)

結婚媒介事業は

國營か

最近鳩山文相の令嬢が従兄に嫁したことは所謂優生學的條件に適合したるもので大に或る方面の好評を博した。夫れで最高識

者間で此優生學的見地から結婚相談所を設立し之を國家の管理事業として經營せんとする企があるとか聞く。斯種の調査事業の經營が官吏の手に依つて遺漏なく取扱はるゝものとの認識に依つて企圖せらるゝは果して現代社會の正體をハッキリと認めたるのであらうか。鳥瀉博士の令嬢が結婚の解消を要求したるは最近の事象であるが其要求の原因が何であつたかを思ふときに假令國家の事業として經營し當該官吏が勤務時間中喫煙の隙もなく晝食後一時間餘の散歩休息時間も節約して其職務に忠實に従事するとも果して所説の如き目的を達し得るであらうか。男子青年者の多數が過去に於て現在に於て長岡學士と同病患者であることと思ひ至つて其處に優生學的好成績を獲得せんとする企は所謂學者的認識に出づるものか眞劍な人間の生存問題として笑止千萬な企ではなからうか。(水河生)

並木の愛護

爽な風が頬を撫で若葉の薫りが初夏を擧げて地球と太陽との距離が益々近接して來るに從つて樹の下蔭は吾々人類にとつて沙漠の水のそのように限らない憧れだ。幾萬の人々の呼吸する都會の空氣は近代文化の影響をうけて煤煙に塵埃に微菌に恐しきまでに汚濁され、清新潑刺たる「綠」は次第に遠ざけられて行く。だが人間生活殊に都會の生活に於てこの「綠」は其のオアシスとして必要缺くべからざる存在ではあるまいか。

帝都の郊外我が街にもあの乾ききつた鋪道にプラタナスの並木が一點の潤ひを見せて我々に幾何の生氣を興へてくれる。我々は衷心から幼樹の生長を健かなれと念じてゐる。然るにこの慕しい無心の同胞に敢て迫害するグレード・アニマルあることは亦なんとしたことであらう。何が爲に斯く危害を加へるものであらうか。吾人の甚だ其の意を得ぬ事である。このような事で何時の間にか吾等の身心を満足せしめる事が出

來得よう。是は一に當局者の並木に對する熱意の足りない結果ではあらうが一は國民一般に並木愛護の精神が排除せる結果ではなからうか。

五月號本欄に於てM氏が巴里の並木マロニエに付いて巴里市會が莫大の豫算を可決した事を報ぜられたが聞くに快哉を叫ぶを得ない。

それにつけても我が國に於ける並木植樹もさる事ながらそれと共に巴里のマロニエならぬ市民の持つ並木愛護の精神を何んと我が國民に移植する方法はないものか。

(i i 生)

女は火の用心

貴誌第十五卷第四號の「假面劇中に「一日一家言」と題し「遊んでおれば評判のよい階級云々」の一文がありましたネ。私の郷里で二人の子供がある身で父として夫として勤勉努力し尙且道徳を守らなければならぬ者が徹底的に怠ける丈け怠け不徳の

上の不徳な行を爲す爲めに妻は一家を維持する爲めに女中奉公まで勉めたが夫の怠惰無情はいやが上につる計りであつた。そこで思ひ余つて妻は不良の夫を毒殺せんとして未遂に了つた。毒虫の如き天への私的刑罰は國の刑法に觸れ處刑された。斯んな關係で法律が働く司法官は職務力を應用して不幸な妻を罰し不良な夫を無事に置かねばならぬこととなつた。他には勞務を強ゐながら自らは酒を飯んだり、女を弄んだり人生をふざけておる者が安全であると云ふ事實譚があります。夫れで某新聞では「世間には怠惰無能な男の如き男が一人前にむしろ其以上の期待を以て女子を待つておる健康と勤勉と頭と純情とを求むる女子は結婚の對照として火の用心が大切だ」と記述して居る。豈に畜に女子のみならんやである。非常時局の日本だとか、舉國振張の秋だとか絶叫せらるゝ世の間ではマサカ遊んでおれば評判のよい階級がある筈はない。乍去前記の事實譚もあることだアナガチそ

んな階級社會がないとも限られない。軍服着用ギヤング團は斯んな階級征服に出掛けられては如何。桃太郎の鬼ヶ島退治よりは現實的だと思ひますよ。(筑紫浪人)

滑つたの轉んだの

惟れ天、玄黙、徳にあらずば動かす。惟れ神、著明、識あれば必ず感ずと寔に其言の如し。荒木陸相が偶土木會議官制案を手にして思ひ付かれたのが交通會議と云ふことであつて其睿智のきらめきが閣議席上の一言となつたと思はる。されど土木會議と交通會議とは其目的と本質とを異にすることは總明な荒木陸相の氣付かざる筈はないことは勿論である。土木會議は内務省の土木局に分掌せられて居る道路港灣河川の土木事業に關する根本的調査機關と云ふのである。交通會議は恐らく鐵道、軌道、船舶、地下鐵、自動車、航空機等の機能の調和發達に關しての調査機關であらう。されば鐵道に關して鐵道協會、道路事業に關し

て道路改良會、港灣事業に關して港灣協會がある。そして全國交通網調査に關しては全國交通網調査會が創立せられた如く各其目的とする處に従つて夫れ／＼の機關が設置されて居る。陸相の一言で土木會議が暗から暗へ葬り去らるべきものでない。果然土木會議の官制は決定せられた事は落付く處に落ち付くものである。滑つたの轉んだのと輕々に騒ぐ要はないものだ。(B筆工)

舉國一致の第一歩

今は非常時だ、國難多來だ、舉國一致だ共同戮力の秋だ、自力更生の時だと東西南北及上下を通して叫ばれておる、笛の音は高く高く天まで達しておる廣く普く山村漁濱農里に届いておる。だが非常時の氣分と國難多來の感想とは何人か確く強く把握して居るか、祭の笛や太鼓の音はトドロ／＼と鳴り渡つて居る。踊り子は何處にひかへ居るか太郎冠者を呼び寄せても詮議の仕様はあるまい、豫算の分捕が國難打開の良策

であらうか、國政上の無風帯か非常時の對策であらうか、政友會の一長老は一國一黨を主張して政黨の解消を大呼して居るが之れが國勢轉向の中心點であらうか情性と因襲とに生くる八十の老人に國政を一任するを排斥する紫雲莊主の意圖は濟世の力ありや、宇宙に一定の秩序あり天地に陰陽循環の理性は存するが人間時に脱線の慾望が生ずる、個性の發展自己のエゴイスト之れが因となる場合何をか發生する、府縣の協力市町村の共同一致は如何なる事業の上に表現されて居るか否其協力戮力の途を啓蒙したるの實蹟ありたるか之れ遺忘せる一大事ではなかるうか地方自治團體の協調其處に舉國一致の模範を見出され得るに非らざるか敢て借問す内閣諸公の意圖は那邊に存するか?(夏木生)

爭議の色別

數年前であつたか東京市電氣局のバス車掌が勞働運動を起したとき其赤襟に因んで

赤色爭議と命名せられた事がある。伊太利では黑色闘争が成功してムツンリーが首相となる獨逸では鼠色爭議が擴張し遂にヒットラーが政權を把握する天下の爭議を色別けにする中々興味津々たるものがある道路鋪裝工夫のストライキは何んと命名したら適當だらうか、先年濱口内閣時代に判檢事達が高調した減俸反對運動は如何若し夫れキヤラメル製造工場の爭議はアメ色爭議とも言ふべきか政友會の内訌爭議はヌエ色爭議とも云ふべく、京大學生の文部反對運動は如何樞黃色爭議と見得るか、歌姬やミスダンサーや活動女優達の待遇改善運動を桃色爭議とは抑も如何なる點に基いての命名か職工爭議が菜葉色爭議で海軍水兵の上陸運動が白色運動公娼の自由散步運動が紅色運動、失業者の就職運動が灰色運動、小作爭議が泥色爭議漁夫の爭議が海色爭議活版小僧の爭議が鉛色爭議で爭議のゼネストは夫れ雜色爭議か總ての爭議を清算し色上げすれば其處には空色が生ずる。昔時支那の哲人は色を色として賢にかへと申されて居る後世恐るべきは色々の爭議である。

(活版小僧)